

成果指標				
成果指標	参加人数			
指標設定の考え方	健康まつりに参加することにより、健康に対する意識を高めてもらうことを目的としているため、参加人数を指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	3000	3000	3000	0
実績	3000	3000	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	健康啓発のための事業として市民に定着したイベントであり、今後も継続することが望ましい。ただ類似のイベントと共同で開催するなど、内容、規模、会場等については、今後も検討を重ねる必要があると考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	健康づくりについての普及啓発を行うことにより、医療と健康の問題についての関心と理解を深めるのに必要な事業であるが、魅力のある事業を企画する必要性があると思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	時間を要すると思われるが、健康に関連するコーナーを充実させ、関連外を縮小することによる開催目的の明確化を図ること。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。